

「今、何の病気が流行しているか！」

(川崎市感染症発生動向調査事業—令和5年第31週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか! (令和5年第31週)」を作成しましたのでお知らせします。

令和5年第31週 (令和5年7月31日から令和5年8月6日まで)

第31週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、**1)新型コロナウイルス感染症 2) 感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**でした。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は12.95人と前週(14.54人)から横ばいでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.37人と前週(4.00人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.46人と前週(2.05人)から増加し、例年より高いレベルで推移しています。

今週のトピックス

“腸管出血性大腸菌感染症～肉を焼く時の注意点～”について取り上げました。

川崎市における令和5年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は、第31週(令和5年7月31日～8月6日)までに計41件となりました。過去5年間と比較して最多となっており、今年は焼肉の喫食が原因と推定される事例が複数報告されています。

腸管出血性大腸菌による食中毒は、生や加熱不十分な肉の喫食や、菌に汚染された調理器具等を介した経口感染が原因となります。焼肉やバーベキュー等の際には肉をよく焼いてから食べましょう。また、生肉に触れるトング等の調理器具は菌に汚染されている可能性がありますので、食べる時に使用する箸とは必ず使い分けるようにしましょう。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関(小児科定点37施設、インフルエンザ/COVID-19定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設)等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

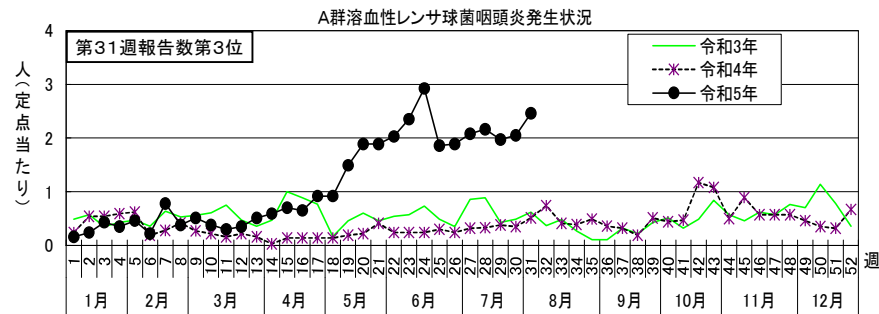
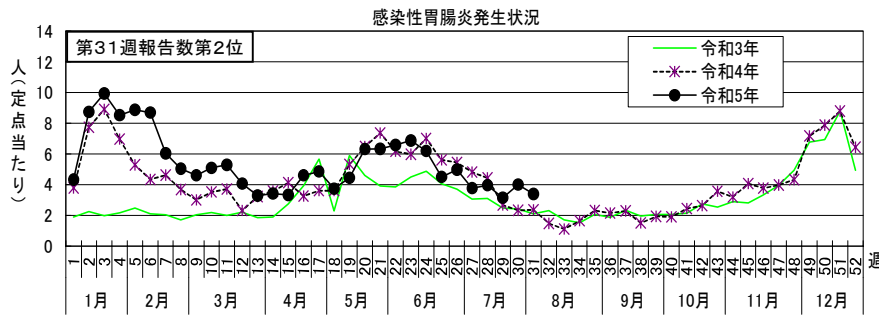
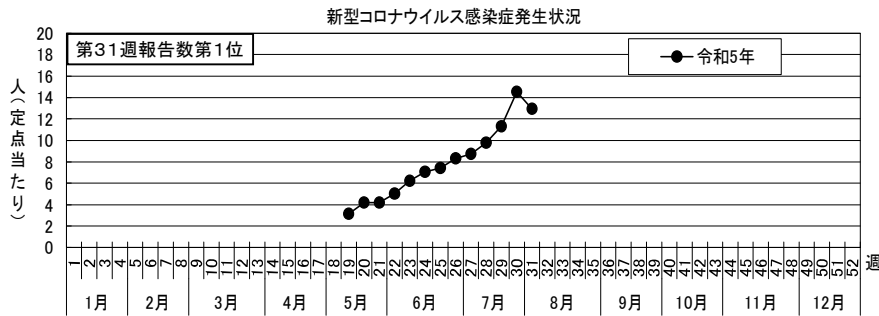
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 小田
電話044(200)2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044(276)8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年7月31日（月）～令和5年8月6日（日）〔令和5年第31週〕の感染症発生状況

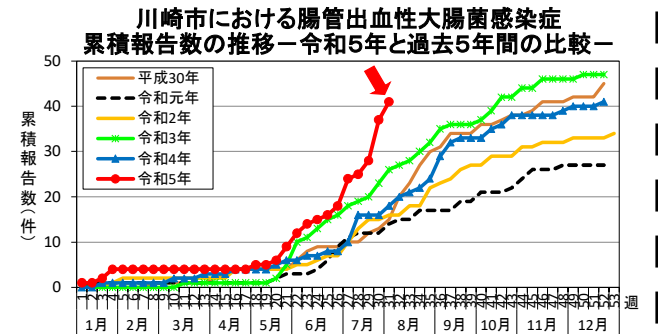
第31週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 新型コロナウイルス感染症 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は12.95人と前週（14.54人）から横ばいでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.37人と前週（4.00人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.46人と前週（2.05人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。



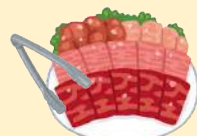
腸管出血性大腸菌感染症～肉を焼く時の注意点～

川崎市における令和5年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は、第31週（令和5年7月31日～8月6日）までに計41件となりました。過去5年間と比較して最多となっており、今年は焼肉の喫食が原因と推定される事例が複数報告されています。

腸管出血性大腸菌による食中毒は、生や加熱不十分な肉の喫食や、菌に汚染された調理器具等を介した経口感染が原因となります。焼肉やバーベキュー等の際には肉をよく焼いてから食べましょう。また、生肉に触れるトング等の調理器具は菌に汚染されている可能性がありますので、食べる時に使用する箸とは必ず使い分けるようにしましょう。



【焼肉・バーベキュー等を楽しむために～トングとお箸の使い分け～】



(1) 生肉をトングでつかみ、網に乗せる。



(2) 片面が焼けたら、トングを使って肉をうら返す。



(3) 肉をよく焼き、箸を使って取り上げる。



おいしく安全に
 食べましょう。

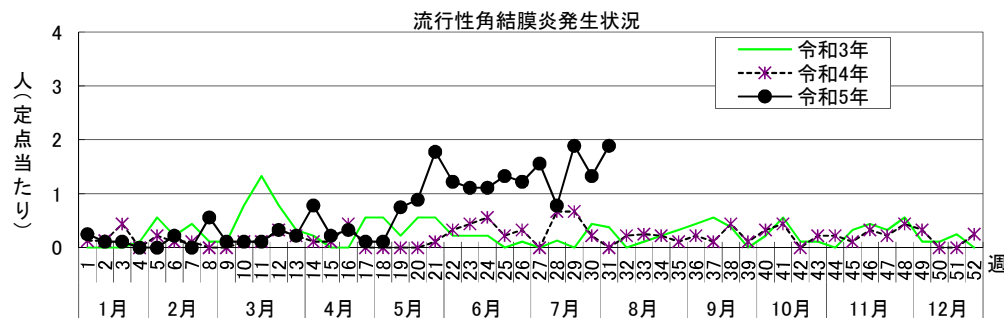
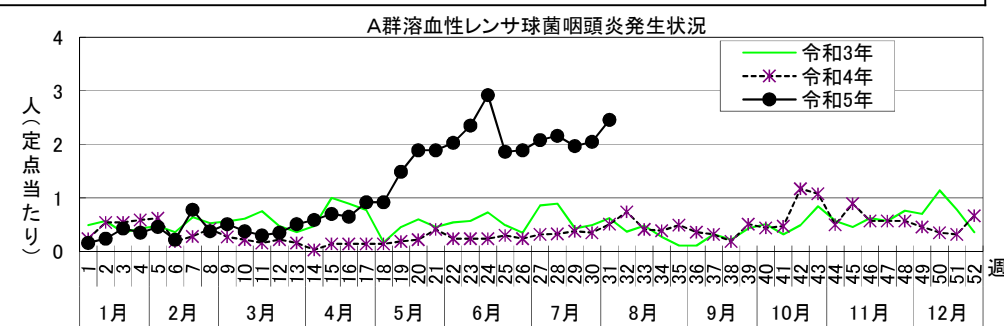
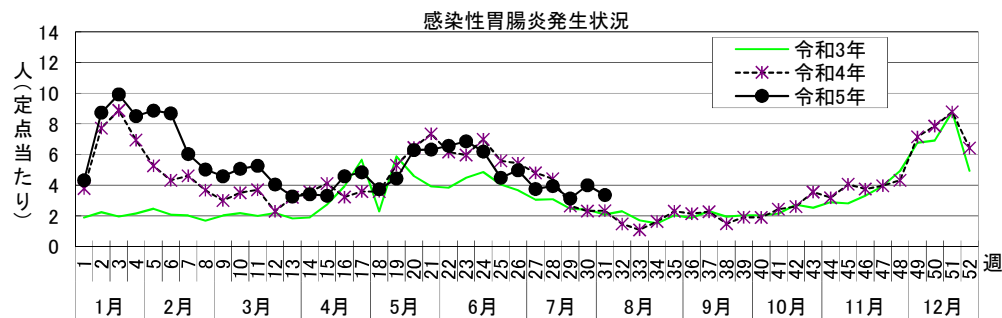
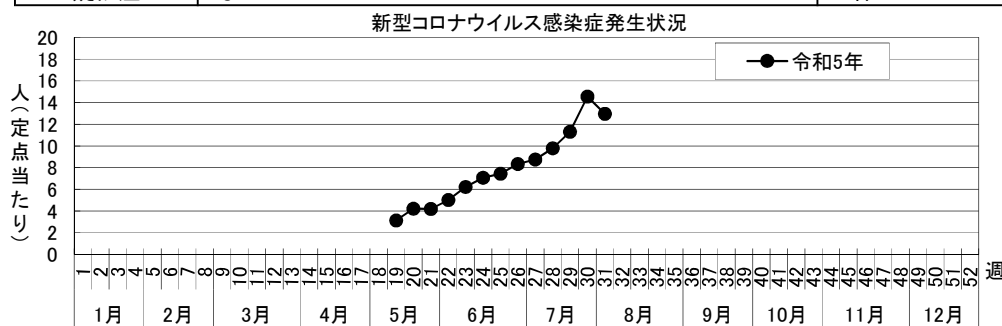
川崎市ホームページ：「食中毒の予防について」より作成

感染症週報 [市内週報 令和5年第31週(令和5年7月31日～令和5年8月6日)]

令和5年8月8日

令和5年第31週感染症発生状況【川崎市内】

	届出(第31週)	累計(令和5年第1週以降)
1類感染症	なし	なし
2類感染症	結核 3件	結核 128件
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 4件(O157 3件、血清群不明 1件)	腸管出血性大腸菌感染症 41件(O26 5件、O103及びO157 1件、O157 31件、血清群不明 4件)
4類感染症	E型肝炎 1件	E型肝炎 13件、デング熱 3件、レジオネラ症 6件(肺炎型 3件、ポンティアック熱型 2件、無症状病原体保有者 1件)
5類感染症 (全数把握疾患)	急性脳炎 1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件、 侵襲性肺炎球菌感染症 1件、 梅毒 2件(早期顕症Ⅱ期 2件)	アメーバ赤痢 6件、ウイルス性肝炎 2件(C型 2件)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 13件、 急性弛緩性麻痺 3件、急性脳炎 7件、クロイツフェルト・ヤコブ病 1件(孤発性)、 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 8件、後天性免疫不全症候群 5件(AIDS 1件、その他 1件、無症候 3件)、 ジアルジア症 1件、侵襲性インフルエンザ菌感染症 6件、侵襲性肺炎球菌感染症 10件、 水痘(入院例に限る。) 4件、 梅毒 76件(早期顕症Ⅰ期 25件、早期顕症Ⅱ期 31件、晩期顕症 1件、無症候 19件)、破傷風 2件、 百日咳 10件、麻しん 1件(検査診断例)
5類感染症 (定点把握疾患)	第31週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)新型コロナウイルス感染症 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は12.95人と前週(14.54人)から横ばいでした。 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.37人と前週(4.00人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.46人と前週(2.05人)から増加し、例年より高いレベルで推移しています。	
新型インフルエンザ等感染症		新型コロナウイルス感染症 35964件 <small>・令和4年第5週以降は川崎市新型コロナウイルス感染症モニタリング状況の陽性者数 ・令和4年第39週以降は医療機関報告分のみを計上 ・令和5年第19週以降は5類感染症(定点把握疾患)に変更</small>
疑似症	なし	2件



罹患数・定点当たり罹患数、疾病、区別

集計対象: 令和5年31週

集計日: 令和5年8月8日

川崎市 男女合計	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎	
	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり
総数	87	1.47	764	12.95	24	0.69	24	0.69	86	2.46	118	3.37
川崎	16	2.00	138	17.25	2	0.40	1	0.20	5	1.00	35	7.00
幸	-	-	58	8.29	3	0.75	1	0.25	15	3.75	9	2.25
中原	7	0.78	74	8.22	3	0.60	22	4.40	6	1.20	12	2.40
高津	28	2.80	191	19.10	9	1.50	-	-	23	3.83	20	3.33
宮前	6	0.67	117	13.00	2	0.40	-	-	23	4.60	11	2.20
多摩	19	2.38	126	15.75	1	0.20	-	-	10	2.00	23	4.60
麻生	11	1.38	60	7.50	4	0.80	-	-	4	0.80	8	1.60
他・不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

川崎市 男女合計	水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり
総数	5	0.14	21	0.60	-	-	8	0.23	41	1.17	6	0.17
川崎	1	0.20	2	0.40	-	-	2	0.40	4	0.80	-	-
幸	-	-	4	1.00	-	-	-	-	7	1.75	3	0.75
中原	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	1	0.20	-	-
高津	2	0.33	1	0.17	-	-	1	0.17	10	1.67	2	0.33
宮前	1	0.20	10	2.00	-	-	2	0.40	13	2.60	1	0.20
多摩	-	-	3	0.60	-	-	3	0.60	3	0.60	-	-
麻生	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60	-	-
他・不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

川崎市 男女合計	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	
	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり
総数	-	-	17	1.89	-	-	-	-	-	-	-	-
川崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幸	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
中原	-	-	14	7.00	-	-	-	-	-	-	-	-
高津	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮前	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多摩	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
麻生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他・不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

川崎市 男女合計	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)		インフルエンザ (入院)	
	罹患数	定点当たり	罹患数	定点当たり
総数	-	-	-	-
川崎	-	-	-	-
幸	-	-	-	-
中原	-	-	-	-
高津	-	-	-	-
宮前	-	-	-	-
多摩	-	-	-	-
麻生	-	-	-	-
他・不明	-	-	-	-

罹患数・定点当たり罹患数、疾病、週別

集計対象:令和5年31週

集計日:令和5年8月8日

		合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ	罹患数	379	82	65	39	49	57	87
	定点当たり	1.04	1.34	1.07	0.64	0.80	0.93	1.47
新型コロナウイルス感染症	罹患数	3,980	508	534	597	690	887	764
	定点当たり	10.93	8.33	8.75	9.79	11.31	14.54	12.95
R S ウイルス感染症	罹患数	418	87	94	83	73	57	24
	定点当たり	1.90	2.35	2.54	2.24	1.97	1.54	0.69
咽頭結膜熱	罹患数	166	30	25	28	31	28	24
	定点当たり	0.75	0.81	0.68	0.76	0.84	0.76	0.69
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	罹患数	462	70	77	80	73	76	86
	定点当たり	2.10	1.89	2.08	2.16	1.97	2.05	2.46
感染性胃腸炎	罹患数	851	184	139	146	116	148	118
	定点当たり	3.87	4.97	3.76	3.95	3.14	4.00	3.37
水痘	罹患数	29	10	4	8	2	-	5
	定点当たり	0.13	0.27	0.11	0.22	0.05	-	0.14
手足口病	罹患数	149	33	21	38	19	17	21
	定点当たり	0.68	0.89	0.57	1.03	0.51	0.46	0.60
伝染性紅斑	罹患数	2	-	-	-	2	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	0.05	-	-
突発性発疹	罹患数	46	9	4	7	9	9	8
	定点当たり	0.21	0.24	0.11	0.19	0.24	0.24	0.23
ヘルパンギーナ	罹患数	1,073	276	301	225	130	100	41
	定点当たり	4.88	7.46	8.14	6.08	3.51	2.70	1.17
流行性耳下腺炎	罹患数	19	4	2	6	-	1	6
	定点当たり	0.09	0.11	0.05	0.16	-	0.03	0.17
急性出血性結膜炎	罹患数	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	罹患数	78	11	14	7	17	12	17
	定点当たり	1.44	1.22	1.56	0.78	1.89	1.33	1.89
細菌性髄膜炎	罹患数	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	罹患数	2	-	-	1	-	1	-
	定点当たり	0.17	-	-	0.50	-	0.50	-
マイコプラズマ肺炎	罹患数	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	罹患数	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	罹患数	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ（入院）	罹患数	1	1	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.08	0.50	-	-	-	-	-

